

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー



プロフィール 牟田 陽雄（むたはるお）1932年（昭和7年）85歳、福岡県小郡市の農家に生まる。2歳のとき家族と共に旧八幡市へ転居。昭和20年、山ノ口小学校を卒業後、八幡工業学校（現・八幡工業高校）へ進学。この年の8月8日、八幡大空襲に遭遇。八幡工業学校卒業後、15歳で三菱化成黒崎工場（養成所）に入社、昭和25年現場に配属。在職中、労働災害（三菱化成職業性膀胱ガン）防止運動に参加。この運動は、後に「労働安全衛生法（72年）」制定の礎となった。1992年に退職。今も治安維持法犠牲者国家賠償同盟の運動を継続している。

今回は八幡西革新懇の嶋國勝と池村好順が、牟田さんに当時のお話を伺いました。

Q:「牟田さんの勤めていた当時の三菱化成黒崎工場では、ベンジジン中毒による膀胱ガンで労働者が死亡するなど深刻な職場実態があったそうですね。その当時のことを聞かせてください。」

◆牟田さん:「黒崎工場に就職したとき私は高圧現場に、友人の多くは染料工場に配置されました。過酷な問題が起きたのはこの染料工場なんです。昭和32年に三菱化成黒崎工場ではベンジジン中毒が明らかになりました。これが原因で膀胱がんを発症し、多くの方が命を落としました。私の友人も、九大病院に3回も入

院したんですが、労災未認定。それで『八幡職対連』をつくり、全国交流集会で報告し告発を始めました。『朝日新聞』がこのことを取りあげ、このことで全国の染料職場の実態が明らかになっていきました。しかし、肝心な黒崎工場は全貌を公表しません。苦しいたたかいが続きました。」

Q:「そうですか。未認定のまま死んでいった方もいたようですね。その後の行動は・・・。」

牟田さん:「患者、労働者、医師が集まり、告発の大運動を始めました。こうした情勢のなか、『朝日新聞』が再び連続的に取り上げ報道をしてくれ、大キャンペーンをしてくれました。こうしたこと

もあって労働省は、初めて三菱化成黒崎工場における膀胱ガンの実態を明らかにしましたが、その内容は、『死亡7名、労災認定患者61名、要注意者371名』という大変深刻な内容でした。」

Q:「本当ですね。ベンジジンという物質は発がん性があるということですか。」

牟田さん:「ベンジジンは、すでに50年以上も前にILOによって発ガン物質と断定されています。三菱化成黒崎工場では、ガン発症まで平均20年間という潜伏期間をもつ物質の製造使用が始められ、昭和29年に一人の膀胱ガンの死者を

出しながら、以来多くの犠牲者をだして、やっとその一部が公表されたというのが実態でした。企業による『謀略的な殺人罪』だったと思いますね。」

Q:「ひどいですね。国の指導はなかったのですか。」

牟田さん:「政府はベンジジンの労働者の一部について健康診断はやっていましたが、それ以上の動きはありません。労働基準法がありながら、その正確な知識さえ与えられず無防備なまま放置されていたことに対して、私たちは強い憎しみをもちました。私たちは、これは三菱化成黒崎工場の労働者だけの問題ではない、すべての労働者、職業病患者の問題であり、企業や政府のい

ままでとってきた無責任な労働行政を徹底的に糾弾しようと、告発を強めました。その後、国会でもこの問題が取り上げられ、労働省による実態調査や法的な規制と注意勧告がようやくなされるようになりました。化成の悲惨な状況を克服するのに10数年かかりましたが、しかし、この私たちのたたかいは、「労働安全衛生法」(72年)制定の重要な運動へとつながっていきました。」

Q:「牟田さんたちのたたかいが、『労働安全衛生法』制定に結び付いたということですね。・・・、牟田さんにはもう一つ、是非言いたいことがあるそうですが。」

牟田さん:「13歳の時、8月8日の八幡大空襲がありました。家の前にも焼夷弾が落ち、高炉台公園や中央区一帯は燃えて火の海になりました。2日後、私は上本町、尾倉、黒崎そして学校まで歩いていったんですが、水槽に頭を突っ込んだまま死んでいる人、丸焦げになった人、焼け焦げた馬、本当にひどい光景でした。こうした体験から、私は戦争だけは絶対にしてはならないと強く思っています。

私の兄は昭和18年にビルマ戦線に召集されました。そして兄はそこで戦死しました。兄の所属した部隊も全滅でした。昭和21年12月2日、国から本籍地に“公報”が届きました。「昭和20年4月6日午後7時、ビルマ国メーカーレー県ナンジエンビーにて戦死」と記されていました。

そしてその後、「白木の箱」が家に届きました。しかし、その箱の中には何も入っていませんでした。普通は爪とか髪とか入っているはずなんですが・・・。母はその白木の箱に、兄の写真と手紙を入れ大切にしていました。

戦後何年も経ってから、母から「ビルマに行ってくれ」と頼まれました。戦死した兄の供養のためだと思います。私はビルマ巡拝を決め、ビルマには2度行きました。

兄の部隊は全滅しています。ビルマを訪れ、そしてようやく兄貴の戦死した場所にたどり着くことができました。その丘に立つことができました。「こんな所で死んだのか」、なんとも知れない気持ちになったのを今でも記憶しています。遠いビルマの地で24歳で戦死した兄、その兄の遺骨

はいまだに帰ってきていません。ほぼ同じ時期のビルマ・インパール作戦、餓死と病死での全滅。70年以上前に戦争は終わりましたが、私の『戦争』はいまだに終わっていません。兄の死は事実ですが、しかし、どうしても心の中で納得することができないのです。

今また日本の政府は戦争をやろうとしていま

す。とんでもないことです。戦争を始めたらどんなことになるか、わかりきっています。憲法を絶対に守らなければいけない、その思いは強くなっています。私は今も、治安維持法犠牲者国家賠償同盟の運動を続けています。」

☆牟田さん、今日は貴重なお話、ありがとうございました。牟田さんは24歳の時、肺の大きな手術をされたと聞きました。くれぐれも健康には気を付けてください。これからも一緒に頑張りましょう。

「森友文書」改ざん究明・安倍内閣総辞職を！緊急アクション

3月23日午後1時から、「アベ政治ノー・平和のための戸畑行動委員会」のよびかけで“「森友文書」改ざん究明・安倍内閣総辞職を！緊急アクション”——集会、パレードが行われました。戸畑区「浅生公園」での集会には、昼休み中の戸畑けんわ病院の職員、新婦人、民商、年金者組合、共産党の地域の人たち50人が結集。集会後、会場の公園から浅生市場・商店街をパレード、「安倍昭恵氏の証人喚問を！」「安倍内閣は総辞職を！」「安倍9条改憲を阻止しよう！」と通行人や車にアピールしました。緊急アクションは30分間、ひびき信用金庫前で解散となりました。



あたりまえの政治を市民の手で！
ねつ造、改ざん、隠ぺい、安倍内閣は退陣を！

4月14日国会前大行動にのべ5万人

4月14日午後2時、国会正門前で「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」「未来のための公共」「StandFor Truth」の3団体が、「安

倍政権は退陣を！あたりまえの政治を市民の手で！国会前行動」にとりくみ、全国からのべ5万人(主催者発表)が参加。「ねつ造、改ざん、隠ぺい、許さない」「疑惑の徹底究明を」「安倍内閣は総辞職」のコールが響き渡りました。

代表してあいさつした総がかり行動実行委共同代表の福山真劫さんは、「安倍政権によって憲法破壊と政治の私物化が進んでいる。これ以上、安倍政権を延命させたら、日本の平和と民主主義、誇りは地に落ちてしまう。今度こそ市民と野党の共闘で退陣させよう」とあいさつ。立憲野党からは、立憲民主党、日本共産党、社民党があいさつ。共産党



の志位委員長は、森友・加計疑惑について、「首相夫妻の関与の疑惑は真っ黒に近いグレーだ。首相は『ウミを出す』というが、出すべき『ウミ』は首相自身ではないか」と批判。「一步一步、市民と野党の共闘が追いつめている。この力で安倍政権を倒し、ウソのない正直な政治、日本の民主主義を取り戻そう」と呼びかけました。3時30分からは、「StandForTruth」が主催。正門前の歩道まで人があふれました。「総辞職」「総辞職」のコールが響き渡りました。



安倍内閣支持率急落、全国世論調査

マスコミが週末実施した世論調査によると、安倍内閣支持率が急落しています。NNN、共同通信、朝日のいずれもが支持が最大5%減少、不支持も最大5%増加しています。また、「安倍総理の

人柄が信用できない」44.7%(NNN)、「信用できない」66.0%(朝日)と、安倍首相への不信と批判が増大しています。加計問題について、柳瀬氏の証人喚問の必要性について、若干の違いはある

	支持する	支持しない
NNN	26.7(30.3)	53.4(53.0)
共同	37.0(42.4)	52.6(47.5)
朝日	31(31)	52(48)

ものの、約7割の人が「必要」と答えています。森友・加計問題の真相糾明と安倍内閣総辞職を求めて、たたかいを強化することが求められています。19日行動、憲法集会など、当面予定されている行動を大きく成功させましょう。

憲法共同センターNEWS2018年4月18日第238号から

第38回全国革新懇総会を開催します

全国革新懇は第38回総会と記念レセプションを下記の通り、開催いたします。

日本の命運をかけた、憲法改悪阻止のたたかいが正念場を迎えています。各地の革新懇が身近な要求をとりあげて多彩で豊かな活動をすすめるとともに、「市民と野党の共闘」を草の根から発展させ、3000万署名の力で安倍9条改憲の国会発議を断固阻止するため奮闘しています。

安倍政権が、辺野古基地建設強行、原発推進、労働法制・社会保障制度の大改悪など国民の命とくらしを脅かす暴走政治を重ねるなか、生活向上、民主主義、平和の3つの共同目標をかかげ、確固とした展望を持つ統一戦線の推進力である革新懇運動のいっそうの発展が求められます。全国革新懇は、広範な市民、団体、個人との共同をつよめ、「市民と野党の共闘」の発展に尽力するとともに、次期国政選挙を視野に、新しい情勢に応える革新懇づくり、「全国革新懇ニュース」の普及に奮闘しています。

こうしたなかで開かれる総会を革新懇運動のいっそうの発展へのあらたな出発の場として成功させたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

- 日時:5月19日(土) * 全国革新懇第38回総会…午前11時から午後5時まで
* 記念レセプション…午後5時30分から

- 会場: 学士会館東京都千代田区神田錦町 3-28 TEL.03-3292-5936
(地下鉄「神保町」駅 A9 出口徒歩1分)